

メキシコ金融政策（2022年5月）

0.50%ポイントの利上げで政策金利は7.00%に

2022年5月13日

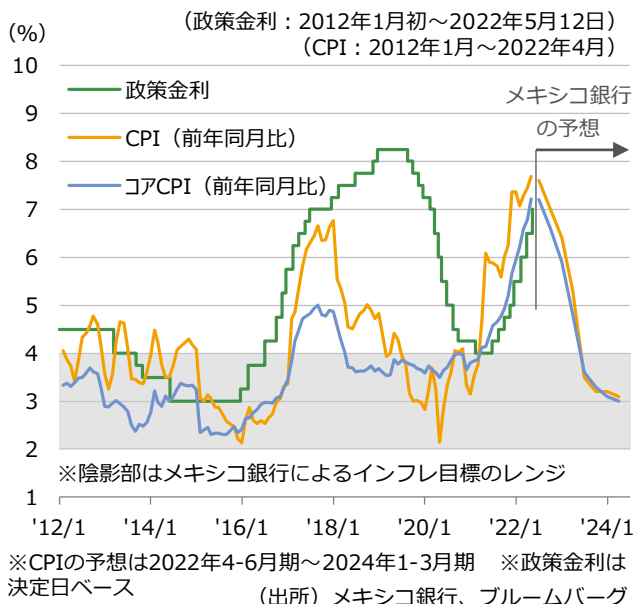
インフレ抑制に向けて「より強力な措置」が必要になる可能性も

メキシコ銀行（中央銀行）は5月12日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を6.50%から7.00%に引き上げることを決定しました。政策委員5名のうち、4名が0.50%ポイントの利上げに賛同し、タカ派で知られるエスピノーサ副総裁だけが0.75%ポイントの利上げを主張しました。

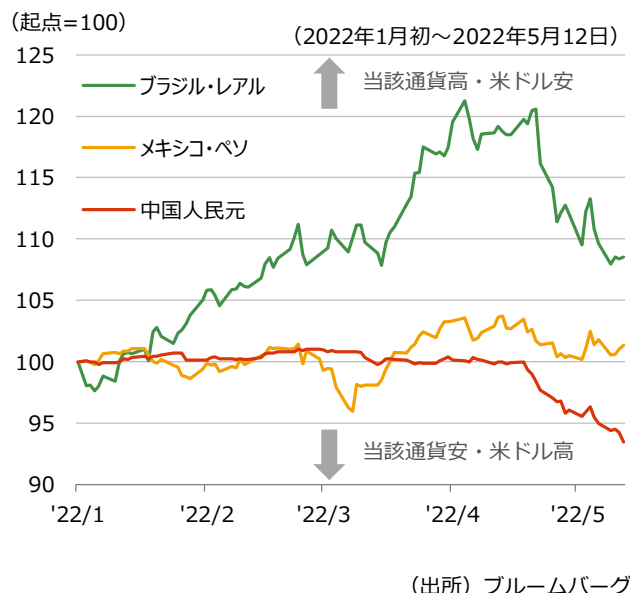
声明文では、（ウクライナをめぐる）地政学リスクの高まりや中国における厳格なロックダウンが、足元のインフレ圧力を一段と高めているとし、来年半ばまでのCPI（消費者物価指数）の見通しを上方修正しています。また次回会合に向けて、「インフレやインフレ期待を取り巻く環境の複雑さが増していることを考慮すると、インフレ目標を達成するために、より強力な措置が検討されるかもしれない」と、状況次第では利上げ幅を拡大させる可能性があることをにじませています。

足元では、中国の景気減速懸念などによる人民元安や、FRB（米国連邦準備制度理事会）の急速な金融引き締めに対する警戒などから、米ドル高・新興国通貨安が目立っていますが、メキシコ・ペソは相対的に底堅く推移しています。背景に、メキシコは経済的な関係が対中国よりも対米国の方が強いこと、メキシコ銀行がFRBや為替の動向を注視しながら金融政策を運営していること、などがあると考えられます。メキシコ銀行は今後も、インフレに影響を与え得る為替の動向などを考慮しながら利上げを続ける可能性が高いため、メキシコ・ペソは対米ドルで安定的に推移しやすいとみています。

メキシコの政策金利とCPI



各新興国通貨の対米ドルレート



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management